



高校美術部員が壁画制作

6月25日、発寒^{こせん}跨線橋^{きせんきょう}の橋脚に、市内の高校美術部員約50人が壁画を制作しました。これは落書き対策のため行われているもので、今年で3年目となります。参加した高校生は「壁画を見た人の気持ちが晴れやかになるような絵にしたい」と話していました。



アジサイでいっぱいの公園に

6月24日、発寒川緑地などで地域住民120人が、アジサイの苗を植えました。かつて水田が多かった地域に、豊かな水を象徴するアジサイを植えることで新たな魅力づくりを目指しています。平成22年までの5年間行われる予定です。



ひとりでも多くの命を救うために

6月26日、西消防署で救急サポーター協力施設証交付式が行われ、5団体にステッカーが交付されました。AED(自動体外式除細動器)を設置して応急手当ができる人がいる事業所などをステッカーで表示。救命効果のさらなる向上が期待されます。



交通事故ゼロを目指して

7月2日、発寒西公園で発寒交通安全総決起大会が開催され、地域住民約1,200人が集まりました。「ちびっこ警察官」の開会宣言の後、交通安全教室などが行われました。また、会場には署名の紙が用意され、訪れた人は、交通事故「ゼロの心」を誓いました。



区内で行われた
行事を写真で
紹介します。



広告欄